



歯科用知覚過敏抑制材料

# ジーシー G-ガード

包装●1函:4mL 1本  
管理医療機器 223AKBZX00002000

## ジーシー G-ガード の使用方法



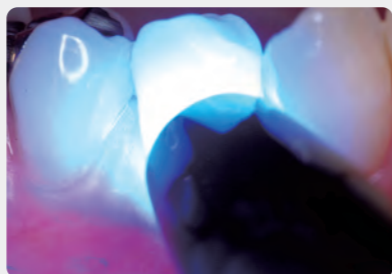
### 塗布面の清掃・水洗・乾燥

塗布面を綿球で清掃し、水洗、乾燥します。  
乾燥時、エアブローで知覚過敏症状を患者が訴える場合には、綿球により水分除去を行ってください。



### G-ガードの塗布

G-ガードを薄く塗布します。  
**エアブローは不要です。**  
揮発成分の揮発が促進され、滑沢な硬化被膜が得られなくなる恐れがありますのでエアブローは行わないでください。



### 光照射

G-ガード塗布後、すぐに光照射を行います。  
揮発成分を含有していることから、塗布後はすぐに光照射を行ってください。

照射器	ハロゲン	LED*	キセノン
光照射時間	20秒	20秒	15秒 5秒(2ステップ照射)×3回

- \*G-ライトブリマIIは20モード
- できるだけ塗布面に近づけて光照射してください。
  - 塗布面が広い場合には、数回に分けて全体を照射してください。
  - 表面にベタつきが残る場合には、照射時間を延長してください。

※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。  
※掲載のジーシー研究所測定参考データは、2011年5月現在のものです。  
※掲載の臨床写真は臨床例で、製品の効果・効能を保証するものではありません。

ご使用に際しては、包装に記載の  
注意事項をお読みください。

発売元 株式会社 ジーシー / 製造販売元 株式会社 ジーシー  
東京都文京区本郷3-2-14 東京都板橋区蓮沼町76-1

DIC(デンタルインフォメーションセンター) 支店  
お客様窓口 ☎0120-416480 ●東京(03)3813-5751 ●大阪(06)4790-7333  
受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祭日を除く) 営業所  
http://www.gcdental.co.jp ●北海道(011)729-2130 ●名古屋(052)757-5722  
●東北(022)283-1751 ●九州(092)441-1286

EF037E1105

# 簡便な操作性&即効性!

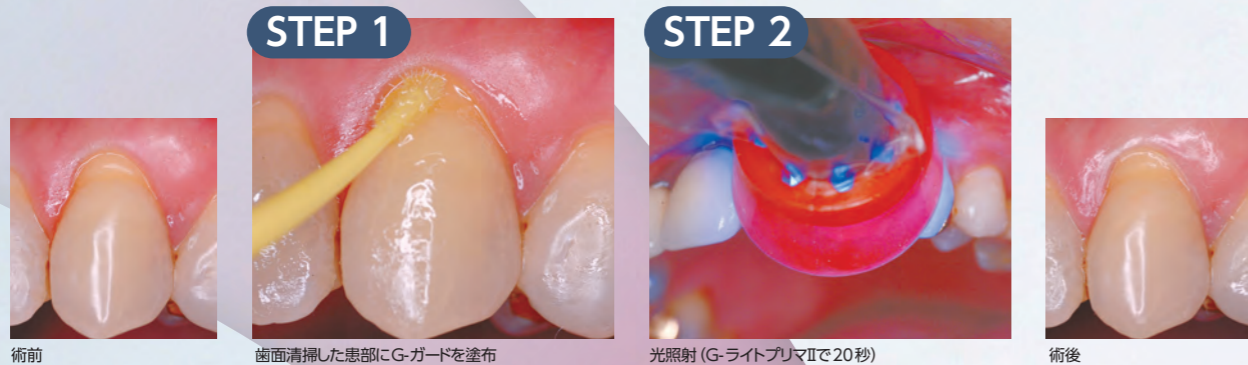
ナノフィラーテクノロジーによる  
知覚過敏の抑制効果と美しさの持続

歯科用知覚過敏抑制材料  
**G-GUARD**  
ジーシー G-ガード



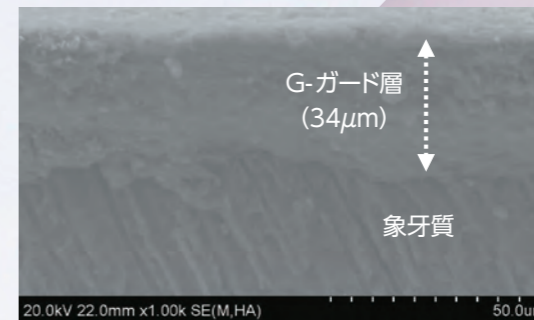
# エアブロー不要! 塗布して光照射するだけ

塗布後のエアブロー不要! 塗布して光照射するだけのわずか2ステップの簡単操作。すばやく処置が完了することで患者さんの負担を最小限におさえます。



# すぐに効く! 象牙細管を即効で封鎖

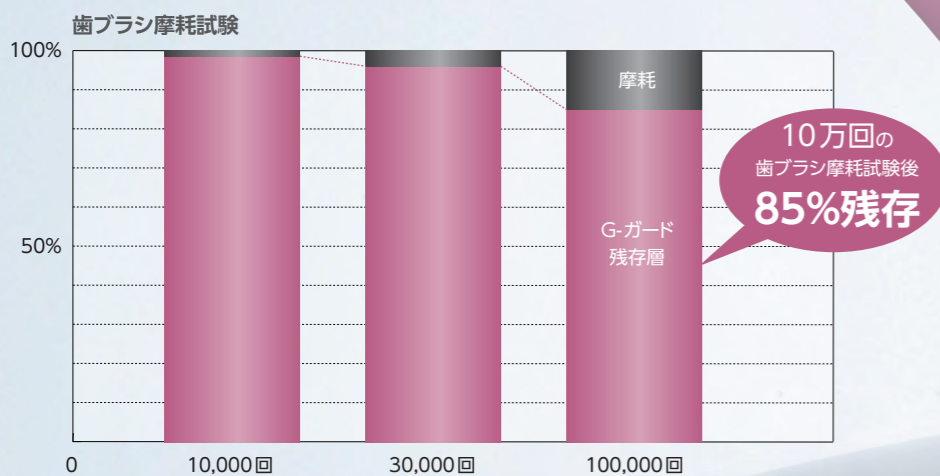
露出した象牙細管を、ナノフィラー配合の強固な薄い層 (30~40μm) で物理的に外界からの刺激を封鎖するため、硬化直後から効果が発現します。



20.0kV 22.0mm x1.00k SE(M,HA) 50.0um  
G-ガード塗布・硬化後の断面SEM像 (×1000)

## 「知覚過敏の抑制効果」を持続

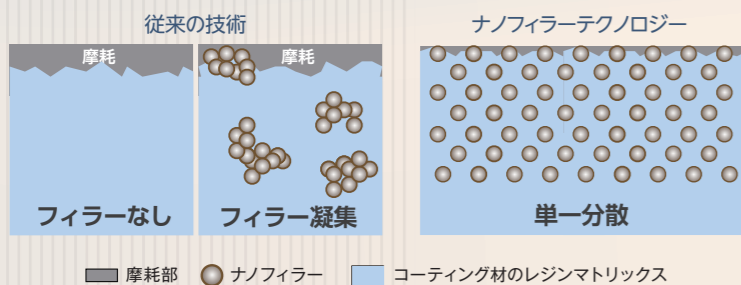
G-ガードを塗布して光照射するだけの簡単操作で知覚過敏を瞬時に抑制。さらにジーシーならではのナノフィラーテクノロジーにより強固な層を形成し、優れた耐摩耗性により抑制効果が持続します。



【試験方法】  
露出させた牛歯象牙質の表面に「G-ガード」を塗布。歯磨剤使用で荷重200gの負荷をかけた歯ブラシ往復運動を行い摩耗量を測定し、試験前の厚みとの割合を算出したもの。  
使用歯ブラシ：プロスペックアダルト (かため)

## ナノフィラーテクノロジーを採用

通常の技術ではフィラーが凝集しやすく偏摩耗しますが、G-ガードは、ナノフィラー均一分散技術により、フィラーが単一に分散されているため、優れた耐摩耗性を発揮します。



# 効果と美しさの持続!

抑制効果

美しさ

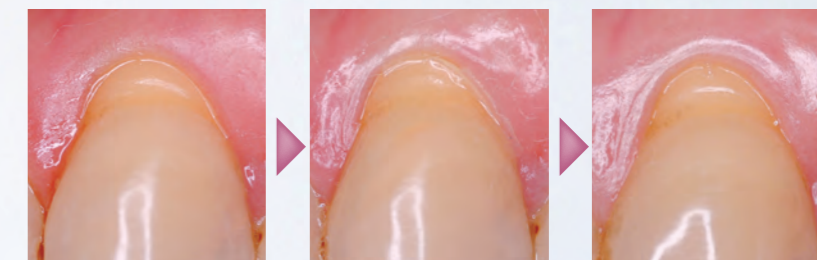
## G-ガード

象牙質

## 「自然な美しさ」を持続

—変着色しづらく、光沢も持続—

光照射後は光沢のあるクリアーな面に仕上がります。さらに硬化後のG-ガード表面にはベタ付きの原因となる未重合層がありません。硬化直後からツルツルの表面のため、色素の着色や変色が起こりづらく、美しさが持続します。



術後4ヵ月経過後も知覚過敏の抑制効果はもちろんのこと、ツヤのある美しさも持続しています。

### 着色試験 (牛歯)



象牙質を露出 (点線内) させた牛歯 (G-ガードは点線内に塗布) コーヒー浸漬1週間後

牛歯象牙質の新鮮面にG-ガード塗布・未塗布の試料を作製。コーヒーに1週間浸漬して比較した結果、G-ガードを塗布した部位は着色が見られないことがわかります。

### プラーク付着試験 (口腔内)



3日後 歯垢染色液での染め出し

歯面全体に「G-ガード」を塗布・光照射し、ブラッシングなどの口腔ケアを行わず3日後に歯垢染色液 (プラークチェックジェルBR) にて染め出したもの。未塗布例と比較して、プラークの付着はほとんどないことがわかります。